

主要施策	健やかで安心な暮らしを支える保健・医療体制の充実
施策の柱	1 健康づくりと疾病予防対策
施策の分類	保健・医療

## ■ 現状と課題

### ○「朝ごはん条例」で健康長寿をめざす町

町では、すべての町民が健康で長生きできる健康長寿の町を目指し、病気の早期発見・早期治療はもとより、健康増進と疾病予防のための「一次予防」を重視して、「健康つるた21」や「朝ごはん条例」を制定し、健康づくり事業を推進しています。

### ○生活習慣病とこころの健康づくり

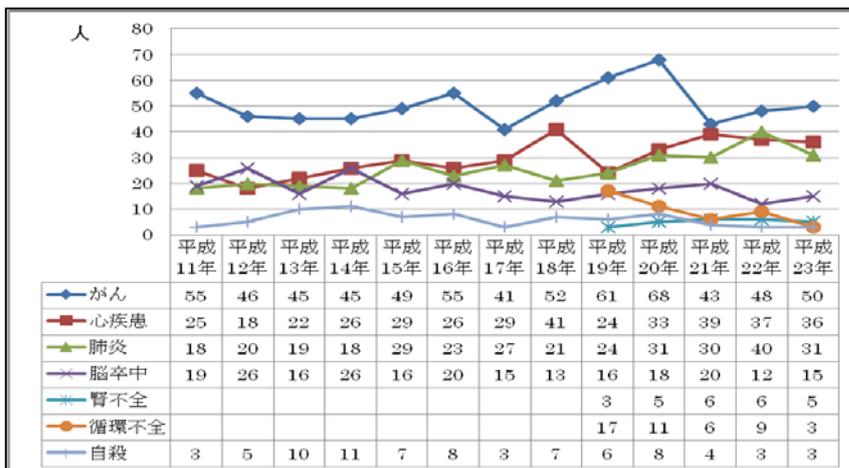
高齢化の進行や社会環境の変化により、「がん・心疾患・脳卒中」等の生活習慣病の死因が5～6割を占め、他に肺炎による死亡が増加してきています。

また、職場や学校、家庭など様々な環境の変化からストレスをためこみ、心の健康を損なう人も増えていることから、心身の健康づくりと自殺者対策に取り組むことが重要な課題となっています。

### ○自主的な取り組みに向けて

町民一人ひとりが健康に対する意識を持ち、自主的な健康づくりに取り組むことにより、疾病を予防し、介護を必要としない健康なまちづくりを推進していく必要があります。

### 1-1 主な死亡原因の推移（鶴田町）

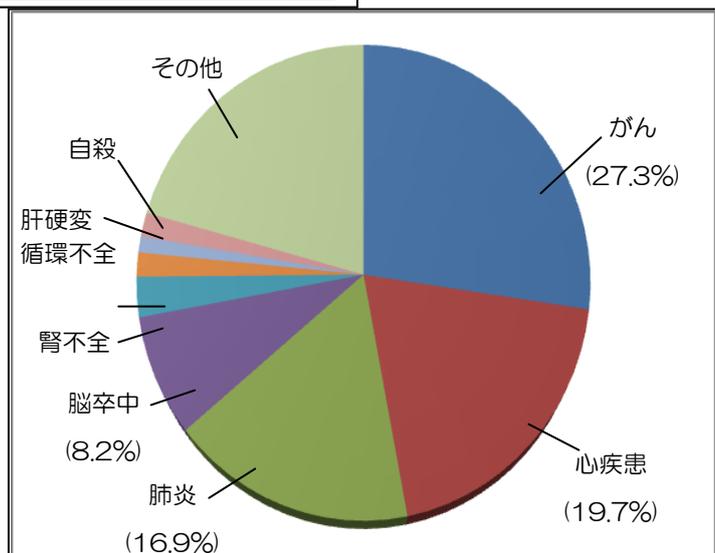


（出典：年次死亡統計）

※循環不全および腎不全については、平成19年度以降より算出。

### 1-2 主な死亡原因の割合（H23）

（出典：年次死亡統計）



## ■ 目指す姿（基本方針）

- 町民が特定健診をはじめ各種がん検診を受け、生活習慣を見直すための保健指導・健康教育・健康相談を利用し、生活習慣病を予防するまちを目指します。
- 行政と地域住民のパイプ役である行政推進員・保健協力員・食生活改善推進員等の地区組織が連携し、「自分の健康は自分で守り、つくる」という意識をすべての町民が持つことのできるまちを目指します。
- うつ病やストレスに対する理解を深め、誰もが命を大切にし、助け合って生活できる地域づくりができるまちを目指します。

1-3 主ながんの部位別受診率（H21）と目標

部位	男	女	計	青森県内
肺がん	80.6%	85.9%	83.6%	1位
大腸がん	60.3%	66.7%	64.0%	1位
胃がん	54.6%	58.3%	56.7%	1位
子宮がん	—	42.8%	42.8%	4位
乳がん	—	26.2%	26.2%	9位

各種がん検診の受診率を、青森県一から日本一へとさらに高い目標を掲げ、健康長寿のまちを目指します。

（出典：市町村別がん  
検診受診率）

## ■ 施策の内容

- 各町内の健診率日本一推進対策地区委員会と共に官民一体で健康づくりに取り組みます。
- 子どもの頃からの生活習慣病予防を意識した食育を通して健康づくりに取り組みます。
- 特定健診や各種がん検診の受けやすい体制や内容の充実に取り組みます。
- 胃がん撲滅運動の一環として平成23年度より、20～40歳を対象にピロリ菌検査を5ヵ年計画で実施していきます。
- がんによる死亡を減らすためにがん検診の精密検診受診率100%を目指し、精密検査料自己負担額の一部を補助します。
- 生活習慣病および寝たきり予防のため、関係職種と連携を持ちながら、保健指導・健康教育・健康相談・家庭訪問などに取り組みます。
- 精神保健福祉ボランティア養成講座や自殺対策講演会等をとおして、こころのケアに対する知識の普及啓発を図ります。
- 相談体制の充実や他の相談機関の紹介を通し、より具体的な自殺対策に取り組みます。

担当：健康保険課